

2018年2月15日
九州旅客鉄道株式会社

2018年3月期第3四半期決算電話会議 主なQ&A

- Q 第3四半期の在来線の収入実績は前年並みだが、災害（九州北部豪雨、台風18号）の影響はあるのか。そうであれば、影響の額を教えてください。
- A 第3四半期において災害の影響はあり、金額は数億円程度と想定している。第4四半期についても久大本線の不通の影響等を見込んでいる。
- Q 今期の業績予想において鉄道旅客運輸収入を8億円上方修正したが、新幹線が伸びているという理解でよいか。業績予想には第4四半期分も織り込んでいるのか。
- A 新幹線、在来線ともに基礎トレンドは100%程度とみており、第4四半期における災害の影響等を見込んで業績予想を修正している。
- Q 駅ビル不動産セグメントの業績予想を上方修正している理由は何か。
- A 駅ビル運営会社の賃料収入が堅調であること等から、営業収益、営業利益の業績予想を上方修正している。
- Q 特別利益における負ののれん発生益とは何か。
- A 負ののれんについては、キャタピラー九州株式会社の買収に伴うものである。
- Q 今期の業績予想において、当期純利益を上方修正して、配当が修正されなかった理由は何か。考え方を教えてください。
- A 配当予想は、当社の配当方針「連結配当性向30%程度を目安に安定的な一株当たり配当を目指す」に則ったものと考えているが、最終的な配当は本決算の実績を踏まえて検討したい。

以上